

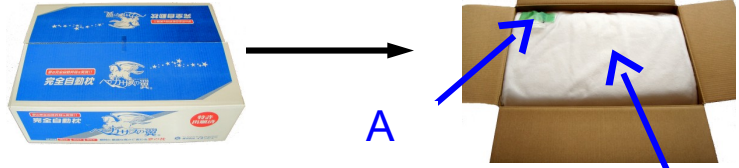
使用説明書



カートンの中には、下記の品物が梱包されています。

- 内容物
- A** 専用6角レンチ (小さなビニール袋に入っています)
 - B** 枕カバー (**D** のカバーの下側、取り付け済み)
 - C** 低反発ウレタンクッション(メッシュカバー取り付け済み)
 - D** 薄手のカバー(汚れよけカバーですので、開梱後は廃棄下さい)
 - E** 使用説明書

1. カートンを開けて **A ~ E** をご確認ください。もし不足品がある場合は購入元にお申し付け下さい。



2. カートンの中からペガサスの翼を取り出し、**A** と **D** を取り外して下さい。
(**A** は保管し、**D** は廃棄して下さい)



3. 初期ご使用準備完了！
枕の向きにご注意下さい。調節ネジ側が頭の上側になります。



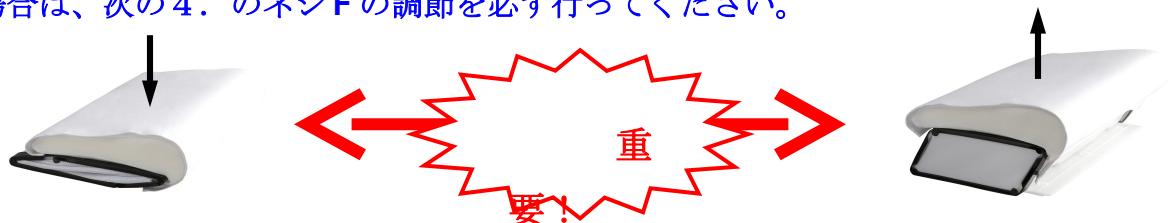
ドイツにお住まいのお客様：

ドイツの一般の枕カバーは大変大きく (80cm x 80cm)、ペガサスの翼をすっぽりと包んでしまいますので、ペガサスの翼をそのままドイツの枕カバーに入れてお使いいただけます。

重要：

仰向けから横向きの寝返りの際に、ペガサスの翼はスムーズに起き上がらなくては (高くならなければ) なりません。そして横向きから仰向けへの寝返りの際には同様にスムーズに沈まなければ (低くならなければ) なりません。それがスムーズに行われないと、ペガサスの翼が夢の枕になるどころか、その反対に疲れを発生させてしまいます。夢の枕は、最適な上下動の硬さ、ネジの (調節) 位置で初めて機能します。

工場出荷時のネジの (調節) 位置は、ほぼ中央、左端からも右端からも約 15 回転目です (15 回転 x 360°) が、その位置 (設定) では、寝返りの際にペガサスの翼がスムーズに動かない場合は、次の 4. のネジ F の調節を必ず行ってください。



4. 6角レンチ **A** での、上下動の硬さ調節

ペガサスの翼の工場出荷時のネジ **F** 調節位置でペガサスの翼がスムーズに上下しない場合は付属の 6 角レンチ **A** を使って調節ネジを調節してください。

横向きから仰向けに寝返った際に、ペガサスの翼がスムーズに沈まない場合（硬すぎる場合）は、2, 3回転（360度 x 2, 3回転）程六角レンチ A でネジ F を左に2, 3回ほど回して下さい。その後まだ最適な硬さを得られない場合は微調整として更にもう1回転、あるいは反対に1回転回します。

仰向けから横向きに寝返った際に、ペガサスの翼がスムーズに起き上がらない場合（柔らか過ぎる場合）は、2, 3回転（360度 x 2, 3回転）程六角レンチ A でネジ F を右に回して下さい。その後まだ最適な硬さを得られない場合は微調整として更にもう1回転、あるいは反対に1回転回します。



最適な上下動の硬さ、ネジの（調節）位置は、お客さま毎に違います。お客様の体重、身長や寝返りの力だけではなく、速度や角度、そして癖も大きく影響します。そして一人のお客様の寝返りの時に枕にかかる力も毎回違います。

ペガサスの翼の自動昇降システムは、シンプルな特殊バネ構造により上下動を可能にしていますが、もし最適だと思われる位置を見つけたにもかかわらず、横向きの時にペガサスの翼が高くなる時は一度頭を枕から軽くお離し下さい。又逆に、仰向けの際に沈まない場合は、顎を軽く上に上げて（頭を下に押して）下さい。

ネジ F の調節の際に、左端より更に左、あるいは右端よりさらに右に無理に回しますと故障の原因となりますのでご注意ください。

普通一般的には、枕を抱え込んだり、特に横向の際には枕の下に手を入れる癖がありますが、そのような、枕をよりよい高さにする為の癖はもう必要ありません。そしてその癖はペガサスの翼使用にも不向きです。

C の低反発ウレタンクッションは、メッシュのカバーに包まれておりますが、中身は洗えません（カバーは洗えます）。又、紫外線に弱い為、直射日光は避けてください。

下記のような場合は、念のためご使用をご遠慮下さい：

- A. 18 未満の方のご使用。 まだ体型が出来上がっていませんので、ご使用をご遠慮下さい。
- B. 小さなお子様と一緒に休みの方。 ペガサスの翼が沈む時に手などを挟む可能性もあります。（まだそのような事故の例は無し）

正しい枕と頭の位置関係

